

常任委員会報告

3月定例会で付託された議案の審議内容（抜粋）

総務厚生常任委員会

●平成29年度大崎町一般会計補正予算（第5号）

◇農地利用最適化推進委員報酬（122万3千円減額）

質…推進委員報酬の減額の理由は何か。

答…農地利用最適化推進委員については、平成29年9月に13名委嘱を行ったが、欠員7名の報酬分が主なものである。

◇観光施設あり方検討会出会謝礼（8千円減額）

質…あり方検討会ではどのような内容が検討されたか。

答…昨年4回検討会を実施した。主な内容としては、本町が所有する観光施設（あすばる大崎、キャンプ場、プール等）は老朽化していることから、施設の整備方針や運営方針について、中長期的視点に立つての提言をいただいた。

●平成30年度大崎町国民健康保険事業特別会計予算

質…平成30年度から財政責任主体が県に移行されるが、特定健診審査等事業について、各市町村への特定健診の受診率にペナルティはあるか。また、特定健診の受診率を引き上げるための目標を定めているか。

答…平成30年度から財政運営の主体は県に移行され、保険事業については市町村の運営となる。特定健診受診率に応じてのペナルティはないが、国の保険者努力支援制度により、効

果が上がったところには、点数をつけて交付金等上げる制度となっている。

目標としては、長期的な視野において、70%を目標に今後も努力していきたい。

文教経済常任委員会

●平成30年度大崎町水道事業会計予算

質…水道水の塩素濃度について、給水過程のどの部分で、どのような方法で測定されているか。

答…濃度は、各配水系統で測定し、水道課のモニターで状況把握している。また、月1回の水質検査や各配水系統の末端で、住民の方に毎日時間を決めて、塩素濃度、水の色、異物混入の有無等を検査していただいている。上水道の水質については、今後とも細心の注意を払っていく。

●平成30年度大崎町公共下水道事業特別会計予算

質…平成30年度に予想される新規の接続戸数と枝線工事の計画はどうなっているか。

答…丸尾地区が8戸、堂地地区が6戸の予定である。また、枝線工事については、それぞれの地区の造成地まで延伸する予定である。